

平成 28 年度 第 2 回周南市人権教育推進協議会 会議録

【日 時】平成 28 年 11 月 25 日（金）10 時～11 時 30 分

【会 場】周南市徳山保健センター 健康増進室

【出席者】委員 14 名（欠席 8 名） 教育委員会事務局他 9 名

《協議》

- (1) 周南市人権教育の推進について報告
- (3) 各団体の事業について（各委員より）
- (4) 質疑・全体協議

《各団体の取組について》

- 地域人権教育連絡協議会の熊毛ブロックの取組みを紹介する。12 月 3 日に人権講演会「くまげ心のふれあいフォーラム」を開催する予定。これまでは熊毛中学校と一緒に開催していたが、今年度から初めて地域住民を対象に熊毛公民館で行うことになった。2 部構成で、前半はホルン奏者による演奏、後半は大橋広宣さんの講演会となった。地域の方がどのくらい参加されるかが分からないため、一所懸命 PR している。8 月には熊毛地域でビデオフォーラムを行った。その際に使用したビデオは「あなたに伝えたいこと」というインターネットに関わる同和問題を扱ったものだった。賛否両論あって、とてもいいビデオだったという意見もあれば、同和問題は基本的には終わっている。あえて同和を出す方がかえって違和感を覚えるという意見もあった。
- 企業・職場では、市内 74 社の企業・職場で「周南市企業職場人権教育連絡協議会」を組織し活動している。職場における人権意識を高めるということを目的にさまざまな研修会、講演会を開催している。本年度は 4 月に役員会を実施し、人権啓発ビデオを視聴した。また、5 月には総会に合わせて「企業職場と人権」というテーマで山口県人権推進指針について研修を行った。11 月 6 日は、男女共同参画セミナー兼企業職場ふれあい人権セミナーを徳山大学と協賛で行った。企業関係者だけでなく、地域住民や学生など多くの方が参加された。第 3 回の研修会は 1 月に人権に関する新着ビデオの視聴会及び役員会を予定している。より多くの企業・職場の方が、研修会や講演会に参加して情報交換し、職場に持って帰っていただいて、各社の人権意識の向上を図っていきたいと考えている。
- 公立幼稚園の取組みとしては、年に 2 回企画部会を行っている。6 月の企画部会では、DVD 視聴で子どもの虐待と偏見にどう踏み込んでいくかということを話し合った。また、各幼稚園では、それぞれ人権講演会をやっている。須々万幼稚園では 12 月に保護者対象で「子育てと保護者の心のサプリメント」というテーマ

で臨床心理士に講演会をお願いしている。学校・園人権講演会の参加や実践事例集を作成も行っている。

- 周南児童相談所は、18歳未満の児童の福祉や健全育成に関するあらゆる相談に応じる県の行政機関である。家族や児童、市といった行政機関、学校などからの相談に応じて地区担当と児童福祉士、児童心理士がチームを組んで相談業務にあたっている。平成27年度の虐待件数は、山口県全体で385件であり、今年度は9月末で240件となっていて昨年度の同時期よりも増えている。内容は、身体的虐待も多いが、最近の傾向として、DVの目撃による子どもの心理的な影響といったケースの通告が増えている。家庭での療育が難しいなどの緊急性の高いケースもあり、施設などに入所すると転校や不慣れな土地で暮らすことによって、ストレスを感じている子どもがいることから、里親制度の説明会を予定している。各中学校に1世帯あれば子どもも転校せずにストレスも感じる事が少なくなる。今年度は光市で説明会、昨年は下松市、その前は周南市と説明に回っている。
- 周南さわやか家族会は、精神障害のある子どもをもつ親の交流を図る団体である。大人の発達障害の居場所づくりを9月から始めた。1月頃に下松市が発達障害についての講演会を開催するので参加する予定。毎年二回の講演会と他の地域との交流会を開いている。今は、新南陽と福祉事務所と下松市のそれぞれの支部で月一回集まっている。事務所がないので自分の携帯に直接相談がかかってくる。相談内容を聞いて市、県、ウィングさんと連携を取りながら対応している。病院のケースワーカーにもかかわってもらっているので、お話ししながら団体を運営している。引きこもりなどの相談も多くて、対応に追われている。
- 社会福祉協議会は福祉の啓発に力を入れている。市内の小・中学校や専門学校などで、アイマスク、車椅子などを使って優しい気持ちや相手を思いやる気持ちを養うような福祉体験学習をしている。今年度は20校開催した。認知症や障害のある方で福祉サービスが受けられない74人にサービスを行っており、10人の方に成年後見人制度を活用している。生活困窮者に対して相談支援など寄り添いながら解決に向かって行っている。業務は多岐に渡るが人権と地域の皆さんが幸せに暮らしていけるように活動していきたい。
- 中学校校長会では、教職員、生徒、保護者に対してそれぞれ人権の学習活動を行っている。43校の小・中学校があるが教職員対象の人権研修会のほかに、人権教育参観日、講演会を全小・中学校が実施している。子どもや保護者だけではなく、地域にもお知らせしている。啓発活動として、各学校図書館に人権コーナーを設置し、子ども達に啓発している。
- （公募市民）本年度のステップアップセミナーに2回参加した。8月23日の長島

愛生園では、ハンセン病元患者によるお話を実際に聞いて感動した。当時の背景が頭に浮かんでとても通常では体験できなかった話をきかせてもらった。先日1月17日は沙羅の木と障害者を積極的に雇用している株式会社カン喜の視察に参加した。沙羅の木では、DVで県外からこちらに来られている方がおられ、実際に自立に向けて支援を受けられている様子が分った。この施設は全国的にも積極的に活動されている施設で、これからもこのような団体があることによって救われている人がいることを目の当たりにした。株式会社カン喜は工場を見学したが、健常者と障害者の違いが判らなかつた。お互いがわけへだてなく、できることをしていくという会長の方針がすばらしく、感動した。これからもセミナーを通して自信の人権意識を高め、職場や家族に啓発していきたい。

- （公募市民）ステップアップ研修の中で、8月23日の長島愛生園、10月13日の県人権教育研修会に参加した。どちらも初めて見聞することによって大変参考になった。県があげている16課題の他に、時代と共に、新たな人権課題が出てきた。例えば、震災による子供たちのいじめ、性同一障害などである。時代と共に新たな問題にも取り組んでいき、お互いが高め合っていけたらいいと思う。
- 法務局では、平成28年度版の「人権の擁護」という冊子を作成し、要望があれば随時配布している。啓発は、12月4日から人権週間が始まるので各施設を巡回し、皆様のご協力をいただいている。また、12月10日は上関町で、人権のつどいが開催される。このイベントは、主催が行政の他に周南人権擁護委員協議会と周南人権啓発活動地域ネットワーク協議会で、周南の各地域持ち回りで開催している。ぜひお越しいただきたい。また、人権出前講座を行っている。主に小学生対象に、アンパンマンでおなじみのやなせたかし先生に、人権イメージキャラクターとして「人KENまもる君」、「人KENあゆみちゃん」という漫画を描いてもらい、大きな人形を作って寸劇をやっている。中学生対象には人権作文コンテストを開催し、今年で36回目となった。周南市内では13校312名の応募をいただいた。全国版、山口県版、周南市版をそれぞれ作成し、配布している。人権週間には優秀な作品を集めた冊子を作成し各施設を巡回、配布している。人権の花運動行い、市内5校の小学校を毎年指定し、人権の花を育てることによって命の尊さを考えていただくように取り組んでいる。企業に向けてパワハラ、セクハラ講演会を開催しているので、ご要望があれば声をかけていただきたい。
- 同和会では、毎年久米小学校と夏休みを利用して交流学習をしている。
- すまいるネット周南は、来年2月1日には、周南市男女共同参画フォーラムとして学び交流プラザでドキュメンタリー映画「ずっと、いっしょ」の上映を予定している。1回目を昨年度上映しており、小さいお子様連れの方がたくさん見に来られた。今回は2回目ということで、1回目の続きが描かれている。人権につい

て一番根本である「生命、きずな、家族、生まれる」など、考えさせられる映画となっている。ぜひお越しいただきたい。すまいるネット周南は、平成17年9月に発足した市民団体で、現在、委員は12名で、市の人権推進課と一緒に、講演会の企画、運営を行っている。これからも、男女共同参画のまちづくりについて勉強したり活動したりするとともに、県内外の情報交換活動の幅も広げていきたい。